

令和7年度予算議案に対する

各会派の意見・要望等及び討論

令和7年度一般会計及び各特別会計予算については、議長を除く全議員により構成される予算特別委員会（委員長 田中よしゆき、副委員長 白石けい子）において、慎重かつ厳正に審査を行いました。

各会派から出された意見・要望等及び討論の要旨は、次のとおりです。

経営視点を持ち未来への投資を加速

練馬区議会自由民主党（14人）

令和7年度練馬区一般会計、各特別会計予算に賛成。

令和7年度一般会計予算は4年連続で過去最大となった。

歳入面では、特別区財政調整交付金は、5年ぶりの配分

割合の引上げと好調な企業業績により増加。また、特別区

民税も納税義務者数の増加や賃金上昇等により増加する一

方で、ふるさと納税による減収は年々拡大し、令和7年度

は58億円に達する見通し。さらに、長期金利の上昇は起債

発行における利払い費の増加を招き、財政への制約要因となる可能性もある。

歳出面では、福祉・医療や都市インフラ整備等、生活に

不可欠な事業や、文化・スポーツ・みどり等の区民生活を

豊かにする事業の拡充にも尽力。一方で、区立施設の改修

今後のコスト増も懸念。また、社会保障関係費はこの10年で倍増しており、今後も少子高齢化の進行により、さらなる増加は避けられない。

こうした状況を踏まえて、社会情勢の変化を柔軟に捉え、区民生活や地域経済の支援等重要分野にはしっかりと予算を確保する一方、全事業の断の見直しを図ることを求める。加えて、大江戸線の延伸、地域ごとのまちづくり、区立美術館・貫井図書館リニューアル、さらには子育て・教育施策の拡充は、練馬区の人口や税収の増加につながる「未来への投資」である。税収を「どう使うか」だけでなく、「どう増やすか」という経営視点を持ち、未来への積極的な投資を進めることで、自治体経営をさらに前へ進めていくことを強く要望。引き続き、

練馬区議会自由民主党も先行き不透明な社会情勢に対応し、練馬の未来を切り開くためにより一層尽力していく。

【財政計画】①持続可能な財政運営の堅持を。②積極的な起債の活用と寄附金の確保を。【総務費】①区職員のエンゲージメントを高め、働き続けたいと思える環境づくりを。

②区有施設資産活用専管部署の設置を。③都の開発したAIツールと連携し、危機管理のDX化の推進を。④災害関連死の一層の予防を。⑤スタンドパイプ設置場所を周知し、初期消火力の向上を。【地域文化費】①美術館再整備は区民理解の獲得と、コンストラクション・マネジメントによる

工事費・工期等の妥当性の検証を。②中村橋駅周辺は美術の森緑地や商店街と一体化し、アートを感ぜられるまちに。

③自治活動推進協力費のさらなる充実を。【産業経済費・環境費】①中小企業の人手不足解消に向けた取組を。②事業承継支援の強化を。③町会・自治会の集団回収の報奨金の増額を。④廃食用油の回収場所増設と回収油のSAF（持続可能な航空燃料）化の推進を。【保健福祉費】①認知症伴

走型モデル事業の対象エリア拡大を。②補聴器助成事業の対象年齢の引下げを。③福祉タクシー券はエリア外からの乗車を利用可能に。④ひとり親家庭以外の生活困窮世帯に

も学習クーポン配布事業の実施を。⑤休日夜間診療の委託料の増額を。⑥住まい確保や就職相談を通じ、就職氷河期世代の支援強化を。⑦狂犬病ワクチン接種の周知啓発の強化を。【都市整備費・土木費】

①大江戸線延伸事業計画の確定と鉄道事業許可の取得に向け取組の強化を。②西武新宿線連続立体交差事業は事業用地を活用した事業PR等、取得した用地の積極的活用を。

③練馬城址公園整備に合わせ、外周道路の拡幅を。④空き家対策は6年度実施の調査を基に実態に合った対応を。⑤放射7号線と福泉寺通りの交差点への信号機設置を都に強く働きかけを。⑥田柄川緑道の再整備と（仮称）田柄2丁目公園の整備を。⑦桜台東部地区の防災まちづくりの着実な実現を。⑧富士見台一丁目公園予定地の早期整備を。【教育費】①学校の改築・長寿命化

改修のさらなる促進を。②学校改築に合わせ、近隣で共有する室内ブルの整備を。③全中学校に空調機のある武道場の整備を。④部活動指導員を活用し武道部活動の再興を。⑤子どもや教員が効果的に活用できるタブレット端末の配備を。⑥豊浜中学校の統廃合は地域や保護者の意見を踏まえ、丁寧な対応を。⑦大泉第二中学校は取組方針策定後速やかに改築に着手し教育環境向上を。【こども家庭費】①ホームページやLINE等でも保育園や練馬こども園を比較

できるよう情報提供を。②私立幼稚園で実施の乳幼児一時預かりを子育てスタート応援券の対象に。③ねりっこクラブの全校実施と認証学童クラブ移行への対応を。

凶悪な犯罪や詐欺から区民の命と生活を守れ

練馬区議会公明党（7人）

令和7年度練馬区一般会計及び3特別会計予算に賛成。

我が会派の予算要望等が随所に盛り込まれ、高く評する。

【都区財調・財政計画】①財政調整交付金増加分の効果的利用を。②施設整備基金の確実な積立てを。【総務費】①町会・商店街等の防犯カメラ設置、維持管理費の補助割合の増を。②振動感知式防犯ブザーと防犯対策チェックシート

の配布を。③困難な問題を抱える女性を早期に見出し支援につなげるため、LINE相談や居場所事業の周知徹底を。

【地域文化費】①新公共施設予約システムの団体ID申請手続きは簡略化を。②アーバンスポーツとフェンシング人口増の取組を。③美術館再整備の必要性を広く区民に周知を。④総合体育館にネーミングライツ活用を。【産業経済費・環境費】①カーボンニュートラル化設備設置等補助制度

のさらなる周知を。②商店街空き店舗入居促進事業活用後も起業者に寄り添った支援を。③高齢者等、年代別で区内事業者と求職者のマッチング検討を。【保健福祉費・介護保険費】①光が丘福祉専門学校卒業生に区内事業所への就労

の支援を。②リトルベビーハインドブックは都と連携し使いやすい手帳に。③ペット終生飼養の周知啓発を。都予算を活用し同行避難用のケージやペットフードの備蓄を。【都市整備費・土木費】①貫井主要生活道路1号線タクシー乗り場予定地は整備までの間も有効利用を。②個別訪問で桜台東部地区の防災道路の必要性の理解促進を。③道路陥没事故のないよう維持管理等の見直しを。④デマンドタクシーは利用時間延長と運転士の処遇の検討を。⑤区民交通傷害

保険のオンライン申込み開始に併せて通年で加入受付を。【教育費】①学校配備の防犯用品に新製品導入を。②適応指導教室のメタバースはより効果的な取組を。③不登校児童生徒支援策パンフレットを作成し、多様な学びの相談体制強化を。【こども家庭費】①ねりま羽ばたく若者応援プロジェクトの対象者へ広く周知を。②ねりまママパパてらすの講師や参加者募集は子育て応援アプリ活用を。③学校長期休業中はねりっこ学童クラブで朝8時以前の受入れを。④ねりっこひろば利用登録と保険料決済はオンライン化を。

令和7年度練馬区一般会計及び各特別会計予算に賛成。

立憲民主党は、「人から始まる経済再生」をモットーに、働く人が賃上げされた収入を消費に回すことで市場経済を

誰もが取り残されない助け合いの社会実現を

練馬区議会立憲民主党（6人）

一人が暮らしていく上で安心することが消費の確かな基盤となることから、賃上げと消費による経済の好循環実現に向けて、人への徹底した投資やセーフティネット構築等を実施していく。

国際社会が築き上げてきた規範に基づく秩序から、力を武器にした時代に突入しかねない世界的転換期に我が国が直面する中、区には、国や都と連携の上、健全で均衡した財政運営を要望する。

賛成の理由は次のとおり。

第一に、誰もが取り残されない助け合いの社会実現に向け、予算の約7割を福祉医療・教育・こども家庭分野に充てるという点を評価。家族の高齢化や親亡き後でも、重度障害者の方が住み慣れた練馬で暮らし続けることができる療養介護等の場の整備や、学

童での長期休業中の昼食提供等、一人一人の人生や生活に寄り添った予算となっている。

第二に、今後30年以内に70%の確率で発生するという首都直下地震等に備え、これまでも取り組んできた住宅の耐震化及び緊急輸送道路を閉塞させないために重点的に沿道建築物の耐震化を促進すること、並びに新規事業として在宅避難促進のためのマンション防災対策助成の実施やエリアベッド備蓄等、避難所の生活環境の充実等を評価する。

第三に、美術館・貫井図書館のリニューアルを通じて、未来への投資として新しい価値を創造する取組を評価する一方で、コンストラクション・マネジメント実施による経費節減や各種寄附金等による新たな財源確保には、より一層の注力を要望する。

青天井の美術館再整備より暮らしの支援を

日本共産党練馬区議団（5人）

2025年度練馬区一般会計、国民健康保険事業会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計に反対する。理由は、

物価高騰への対策や事業者への支援が不十分、建設費が109億円に膨らむ美術館再整備、区民合意もないままの学校統廃合や大型道路整備を推進している。住民福祉の増進の取組を求め、以下要望する。①男女共同参画条例を制定し、パートナースhip制度を導入せよ。②災害時のトイレ確保管理計画の策定を。③平米単価が麻布台ヒルズを超え工事費が青天井の美術館再整備は見直せ。再整備と一体のサンライフ練馬の解体は延期せよ。④区内事業者に賃上げや人材

確保費用の支援を。⑤幅広い業種を対象にした物価高騰対策支援金を交付せよ。⑥生ごみの資源化を実施せよ。⑦清掃車両のEV化を検討せよ。⑧区民農園の整備等で農地を残せ。⑨介護労働者の労働条件改善と配置基準の引上げを国へ求めよ。⑩訪問介護報酬の引下げで苦境に陥る事業者へ直接支援を行え。⑪都の介護職への家賃補助に加算せよ。⑫生活苦の相談に福祉事務所を訪れる方へ食料の提供を。⑬生活保護費の引上げを国へ求めよ。⑭大泉第二中学校を分断する都市計画道路の整備は見直せ。⑮当事者や地域の合意のない学校統廃合は進めるな。⑯社会的養護施設出身者



予算特別委員会

等への支援は期限を区切らず弾力的に行え。⑯児童養護施設の職員不足の改善に取り組み。⑰ねりっこ学童クラブは1人当たりの面積基準やユニットの人数を見直せ。⑱石神井庁舎は長寿命化を図り改築計画は見直せ。⑲再エネ100%のグリーン電力証書を受けた事業者から電力を購入し区立施設に導入せよ。⑳精神障がい者への福祉手当を充実せよ。

強化を。㉑男性H P Vワクチン接種は当事者と保護者への理解促進を。㉒ひきこもりの大規模実態調査実施を。㉓障害者が参加できるサークル活動を取りまとめ周知を。㉔就職氷河期対策の実態を把握し対策を。㉕特別支援教育はこども発達支援センターと教育委員会連携し支援を。都と連携し生活単元学習の充実を。㉖障害児の保護者が就業継続

未来へつなぐ人への投資で練馬区を元気に！
練馬区議会未来会議 都民ファーストの会・国民民主党（5人）

令和7年度一般会計・特別会計に賛成。①経常収支比率の改善を評価。今後も弾力性のある財政運営に向けた予算編成を。②不用額の抑制を図り適切な執行管理を。③ふるさと納税は他地方交付税不交付団体と連携して制度是正に向けた取組を。④練馬城址公園外周道路の拡幅と真に必要な防災機能の整備を都に対し強く要請を。⑤区職員の空洞化を懸念。即戦力となる人材の確保、育成を。⑥デフリ

井戸舎は長寿命化を図り改築計画は見直せ。⑲再エネ100%のグリーン電力証書を受けた事業者から電力を購入し区立施設に導入せよ。⑳精神障がい者への福祉手当を充実せよ。

強化を。㉑男性H P Vワクチン接種は当事者と保護者への理解促進を。㉒ひきこもりの大規模実態調査実施を。㉓障害者が参加できるサークル活動を取りまとめ周知を。㉔就職氷河期対策の実態を把握し対策を。㉕特別支援教育はこども発達支援センターと教育委員会連携し支援を。都と連携し生活単元学習の充実を。㉖障害児の保護者が就業継続

区民一人一人の生活を尊重した区政を
インクルーシブな練馬をめざす会（3人）

議案第1号から第4号の4予算に反対。予算反対の最大の理由は、区民の生活に大きく関わる課題への取組が十分に情報公開や検証もされずに強引に進められていると言わざるを得ない点。

美術館は、当初76億円といわれた概算工事が今既に1.5倍の109億円に達する。結局、総額いくらかかるのか、全く不透明。美術館のハコに無計画に税金を投入する美術館の再整備計画の中止を。

道路計画で買収が完了していない住民の自宅を「3か月

解を得ることで、将来にわたる「真に応援される施設」に。⑦練馬駅前の平成つじ公園全面リニューアルは、トイレ

⑧道路陥没が起きない対策を。

令和7年度練馬区一般会計予算、各特別会計予算に賛成。①マンションでの在宅避難は重要。応急給水栓やマンホールトイレ整備費用の助成を評価。さらなる防災対策を。②光が丘福祉専門学校卒業後、区内介護事業所で働く人材が長期定着するための取組を。③東京2025デフリンピックは、子どもたちへ競技会場での観戦機会の提供を。

未来へ向けた区民目標の新しい政治を
練馬区議会日本維新の会（3人）

令和7年度練馬区一般会計予算、各特別会計予算に賛成。①マンションでの在宅避難は重要。応急給水栓やマンホールトイレ整備費用の助成を評価。さらなる防災対策を。②光が丘福祉専門学校卒業後、区内介護事業所で働く人材が長期定着するための取組を。③東京2025デフリンピックは、子どもたちへ競技会場での観戦機会の提供を。

各予算議案に反対。突然の区立保育園0歳児枠の受入れ休止に保護者は困惑。若者施策も不十分。地域包括支援センター専門職の配置基準緩和は高齢者施策の後退を懸念。区立施設は原発や化石燃料に頼らない真の再生可能エネルギーの導入を。区立学校適正配置は人数や学級数ではなく子どもたちが行きたいと思える学校を作る視点を持つべき。

美術館に百億円以上！区長選で区民の審判を
つながる市民・練馬（1人）

各予算議案に反対。突然の区立保育園0歳児枠の受入れ休止に保護者は困惑。若者施策も不十分。地域包括支援センター専門職の配置基準緩和は高齢者施策の後退を懸念。区立施設は原発や化石燃料に頼らない真の再生可能エネルギーの導入を。区立学校適正配置は人数や学級数ではなく子どもたちが行きたいと思える学校を作る視点を持つべき。

住民参加と丁寧な合意形成で魅力あるまちに
生活者ネットワーク（2人）

令和7年度予算に対する各会派の態度													
○賛成 ×反対													
区 分	会派名												
	自民党14人	公明党7人	立憲民主6人	共産党5人	練馬区議会5人	インクル3人	維新の会3人	生活ネット2人	つながる1人	みどりの風1人	参政党1人	れいわ練馬1人	結 果
一 般 会 計	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	可決
3516億8578万円													
国民健康保険事業会計	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	可決
646億2764万円													
介護保険会計	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	可決
640億9209万円													
後期高齢者医療会計	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	可決
203億5984万円													

* 議員数は構成人数（自民党は議長を除いた人数）

令和7年度一般会計、特別会計の国民健康保険事業、介護保険、後期高齢者医療会計の予算議案に反対する。

理由は練馬区行政の根底に流れる人権意識の捉え方に大きな不足を感じるため。

練馬区子ども権利条例や理不尽な校則の見直しガイドラインを制定しないことは、

子どもたちの権利や、区民の人権を守れ。
れいわ新選組練馬（1人）

令和7年度予算に賛成。①ひとり親家庭向け学習クーポン事業を高く評価。給付対象拡充を。②区内全域の防災マップ作成と地区防災計画を整備し周知を。③外国資本の市場独占による火葬場費用高騰は問題。公営火葬場建設や区民への財政補填を。④スクールカウンセラーの安易な心療

非課税世帯の外国人に対する給付見直しを！
練馬区議会参政党（1人）